



みらいを つくる つたえる まもる。

大阪工業大学
OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

<https://www.oit.ac.jp/>

編集・発行/学生部学生課

mail OIT.Gakusei@josho.ac.jp

〒535-8585 大阪市旭区大宮5-16-1

tel.06-6954-4651 fax.06-6951-7760

バックナンバー <https://www.oit.ac.jp/oit/about/magazine.html>

鳥人間コンテスト2026 悲願の初優勝！



鳥人間コンテスト2026で、人力飛行機プロジェクトが初優勝。
さらに、本学の歴代最高記録を更新する快挙を成し遂げました。
学生たちが挑戦を重ねてきた、その成果が大空で実を結びました。



CONTENTS

- P.2 モノラボプロジェクト特集
- P.4 学園祭特集
- P.6 いま輝いている学生
- P.7 工大ニュース・お知らせ

プロジェクト 結果報告

人力飛行機プロジェクトが 「Iwatani スペシャル第48回鳥人間コンテスト2026」で 悲願の初優勝を達成しました！

7月25日、26日に滋賀県彦根市の松原水泳場特設会場で開催された読売テレビ主催「Iwatani スペシャル第48回鳥人間コンテスト2026」の人力プロペラ機部門に、人力飛行機プロジェクトが出場しました。

今年の「人力プロペラ機部門」には12チームが出場。本学は、昨年達成した初の旋回と準優勝という結果を糧に、悲願の初優勝を目標に大会へ臨みました。



競技当日は、強風やパイロットとボートマンの無線が繋がらなくなるトラブルに見舞われる中、これまで積み重ねてきた機体開発や飛行訓練の成果を存分に発揮し、安定したフライトで飛行距離を着実に伸ばしました。

その結果、24,671.48m を記録し、見事、人力プロペラ機部門で悲願の初優勝を果たしました。

今回の優勝は、パイロットだけでなく、機体の設計・製作・整備など、それぞれの役割を担う学生一人ひとりが力を結集し、チーム一丸となって挑戦した成果です。人力飛行機プロジェクトにとって新たな歴史を刻む快挙となりました。

リーダーとしてチームを率いた山本 貴王さん（機械工学科3年）は「色々大変な一年間でしたが、優勝できてホッとしています。」と大会を振り返りました。

写真提供：読売テレビ



学生フォーミュラプロジェクト「TEAM REGALIA」が 「学生フォーミュラ日本大会2026」で ベスト車検賞1位を受賞しました！



8月2日～7日、学生フォーミュラプロジェクト「TEAM REGALIA」が、Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）において開催された「学生フォーミュラ日本大会2026」に出場しました。

本大会は、学生が自ら設計・製作したフォーミュラスタイルのレーシングカーを用いて、その技術力やものづくりの総合力を競う国際的な競技会です。速い車を製作すれば優勝できるとは限らず、車両の安全性や設計、コスト、プレゼンテーションなどを審査する「静的審査」と、0-75m 加速、8の字旋回、サーキットコースタイムアタック、サーキットコース耐久、燃費などを競う「動的審査」により、総合的なマシン性能を競い合います。

本学は、大会に向けて車両の設計・製作や走行試験などに取り組み、チーム一丸となって大会に挑みました。目標としていた全種目エンデュランス完走は果たせませんでしたが、車両の安全性や完成度などが高く評価され、「ベスト車検賞」で1位を受賞しました。

今回の大会で得られた経験や課題を今後の車両開発に生かし、来年こそ全種目エンデュランス完走の達成を目指して、さらなる技術力の向上に取り組めます。



ソーラーカープロジェクトが 「World Green Challenge 2026」に出場し総合2位の成績を収めました！



8月8日～11日、秋田県大潟村で開催された本大会は、ソーラーカーによる長距離レースで、参加チームが車両の性能だけでなく、エネルギーマネジメントやドライバー、ピットクルーを含めたチーム全体の総合力を競う大会です。本学は「ソーラーカーチャレンジャー1」クラスに出場し、同クラスには工学院大学、呉港高等学校、Redzone（社会人チーム）と本学の4チームが参加しました。

8日に行われた車検・予選では、車検を無事通過し、フリー走行では5位となりました。翌9日から始まった3日間のレースでは、初日が73周、2日目が85周と着実に周回数を伸ばし、国内強豪の工学院大学と激しい首位争いを

繰り広げました。

最終日はエネルギーマネジメントや燃費走行の力を発揮し、工学院大学を追い上げる展開となりました。レース終盤には一時首位に立つなど、最後まで白熱したレースを展開。最終日は64周を走行し、見事1位でチェッカーフラッグを受けました。3日間の総成績は214周、総走行距離は1,284kmに達し、クラス2位、総合2位という好成績を収めました。

今回の大会では、来年のオーストラリア大会を見据え、レース経験の少ない1・2年を中心としたチームで大会に挑みました。学生たちは、レースだけでなく大会運営への協力や他チームとの交流にも積極的に取り組み、日を追うごとにチームとして成長を遂げました。

今回の経験を今後の活動に生かし、さらなる技術力とチーム力の向上を目指して取り組んでいきます。



「レスキューロボットコンテスト2026」でロボットプロジェクトがベストオペレーション賞、梅田プログラミングロボットプロジェクトがベストロボット賞を受賞しました！

8月8日～9日、ロボットプロジェクト「大工大エンジュニア」と梅田プログラミングロボットプロジェクト「UP-RP」が、しあわせの村・体育館（神戸市北区）において開催された「大塚化学 POTICON 杯 レスキューロボットコンテスト2026」に出場しました。

本大会は、阪神・淡路大震災の教訓を未来へ伝え、「技術を学び、人と語らい、災害に強い世の中をつくる」という理念のもと、要救助者「ダミヤン」をやさしく救助することをテーマにした競技です。

本学チームは、6月に競技会予選である動画審査を無事に通過（24チーム中12チームが通過）し、今回行われた本選に出場しました。

8日に行われたファーストステージでは、「大工大エンジュニア」は上位4位に食い込みファイナルステージの出場権を獲得しました。続いて行われた9日午前の競技では、セカンドステージに進んだ「UP-RP」が見事ファイナルステージの出場権を獲得し、両チーム揃って午後のファイナルステージに進出しました。ファイナルステージでは、「大工大エンジュニア」は遠隔操作技術やシステムを効果的に活用したチームに贈られる「ベストオペレーション賞」を受賞。「UP-RP」は、大会唯一の六足歩行型ロボット2号機が評価され「ベストロボット賞」を受賞しました。

「大工大エンジュニア」のリーダーとしてチームを率い



た溝部 暢之さん（機械工学科3年）は「今年は昨年の課題であった通信の問題を確実に打破するために、全てのロボットを作り変えました。3台のロボットに取り付けられた9台のカメラの画像を瞬時に処理する“映像通信システム”やロボットの状態を把握できるようにした“情報モニター”、ダミヤンのもとにたどり着いたら自動で二次元コードを読み込む“自動容体判定システム”などが特徴です。最後まで苦労した通信面を高く評価されたことで努力が報われたと思います。今回、ピットメンバー以外の人にも協力してもらってチーム一丸となって勝ち得た賞だと思っています。動く基盤は作れたので、後輩には次へつながる熱い気持ちをもってさらにブラッシュアップして、やりたいことを実現して欲しいです。」と次代に向けて熱いエールを送ってくれました。



城北祭

大宮キャンパス

テーマ「unreal」

2026年11月6日(金)～8日(日)
10:00～17:00 ※7日(土)は18:00まで

第78回城北祭のテーマは「unreal」です。普段の「日常」から一步踏み出し、キャンパスを訪れたすべての人に「信じられないほど素晴らしい」非日常の空間と心躍る体験を届けたいという、実行委員会の強い思いを込めています。

11月6日(金)～8日(日)の3日間は、活気あふれるにぎやかな模擬店をはじめ、世代を超えて楽しめる昔懐かしいおもちゃの企画など、バラエティ豊かな催しを展開します。また、文化会本部が主催する「工学祭(学術系団体による研究発表)」「音楽祭(音楽系団体による演奏)」「芸能祭(芸術系団体による展示・パフォーマンス披露)」では、各団体が日頃の成果を存分に発揮します。審査員による審査のもと優秀な団体を表彰します。学生たちの熱意あふれる発表やパフォーマンスにもぜひご注目ください。

さらに、6日の夜には東中庭でキャンドルナイトを開催します。温かな光が包み込む幻想的な景色は、まさに「unreal」なひとときを演出します。

昼から夜まで魅力が詰まった城北祭へ、ぜひご家族やご友人とお誘い合わせのうえお越しください。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。



Instagram
@shirokita.fes



X
@shirokita.fes



城北祭実行委員会
委員長
柴田 流維
(機械工学科3年)



茶屋町祭

梅田キャンパス

テーマ「TENFINITY」

2026年11月8日(日) 10:00～16:00 (予定)

梅田キャンパスの学園祭「茶屋町祭」の今年のテーマは「TENFINITY」です。このテーマには、“今年度が10回目と記念すべき年であることに加えて、茶屋町祭がこれからも無限に続くことを願って”という茶屋町祭実行委員会の思いを込めています。皆さまに茶屋町祭を存分にお楽しみいただけるよう、心を込めて準備しております。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。



Instagram ▶
@oit_chayamachi



X ▶
@oit_chayamachi

ゲストステージ企画

- 福山潤トークショー
- 【開演】13:00予定
- 【場所】梅田キャンパス3階 常翔ホール

コンサート

- ピアノの会による演奏
- 【開演】11:00/15:00 (2部制) 予定
- 【場所】梅田キャンパス3階 常翔ホール

企画・展示

- フリーマーケット、抽選会、クイズラリー、人探し (茶屋町祭実行委員会)
- お化け屋敷 (OIT 梅田ボランティア部)
- ロボット操作体験 (梅田プログラミングロボットプロジェクト)
- eスポーツ体験 (OIT 梅田 esports プロジェクト)
- 成果物展示企画 (OIT マケットサークル)
- 飲食模擬店 (課外活動団体)
- ふくとくマーケット (アパレルブランド在庫品を格安価格で販売)

課外活動団体によるロボティクス&デザイン工学部の学びを活かした特別企画

- ロボット工学科：小中学生も楽しめるロボット企画 (梅田プログラミングロボットプロジェクト)
- システムデザイン工学科：プログラミングワークショップ
- 空間デザイン学科：ハーバリウム制作 (空間デザイン研究部)



茶屋町祭実行委員会
委員長
小田川 颯汰
(システムデザイン工学科3年)

昨年度の様子

企画

企画名(場所)	場所	日時
開祭式	東中庭ステージ	11月6日(金) 10時
演武祭	東中庭	11月6日(金)
音楽祭	東中庭ステージ	11月7日(土)
仲里依紗トークショー	総合体育館	11月7日(土) 13時
模擬店	東中庭	11月6日(金) ～8日(日)
工学祭	6号館1階中央食堂ほか	
芸能祭	6号館15・16階ほか	
懐かしトイパーク	6号館16階	
防災フェスタ	5号館1階	
カードゲーム企画	6号館7階	
乗り物フェスタ	西中庭	
閉祭式	東中庭ステージ	11月8日(日) 17時



▲ウインドアンサンブルによるファンファーレ



▲書道部によるパフォーマンス



▲キャンドルナイト



テーマ「共創」

2026年11月3日 火・祝 10:00～17:00 (予定)

今年の北山祭のテーマは、「共創」です。

「共創」という言葉には、一人ひとりの力や思いを持ち寄り、仲間や地域の皆さまと支え合いながら、新たな価値や感動を共に創り上げていきたいという願いが込められています。

北山祭は、実行委員だけの力で成り立つものではありません。大学関係者や地域、企業の方々のご理解とご協力、そしてご支援によって開催することができています。

こうした人と人とのつながりを大切にしながら、皆さまと一緒に創り上げる北山祭を目指し、準備を進めて参りました。

当日は、模擬店、展示やステージ企画をはじめ、子どもから大人まで幅広い世代の皆さまに楽しんでいただける企画を多数ご用意しております。また、これまでの北山祭にはなかった新たな企画にも積極的に挑戦し、お越しいただく皆さまに新しい発見や楽しさを感じていただける、笑顔あふれる北山祭を目指しています。

人と人がつながり、新たな出会いや思い出を共に創る場となることを願い、実行委員一同、皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

企画・展示

- 模擬店(飲食・縁日等)・キッチンカー
- フリーマーケット
- 課外活動団体による教室展示
- 課外活動団体によるステージパフォーマンス
- 吉本お笑いライブ
- タレントショー
- 移動動物園
- ビンゴ大会



▲北山祭実行委員会
<https://www.oitkitayamasai.net/>

枚方キャンパス 北山祭



北山祭実行委員会
委員長
三井 海翔
(情報システム学科3年)

SPECIAL TALK

本気になった、その先に 鳥人間コンテスト 初優勝 3人が見つけたもの

リーダー 山本 貴王（機械工学科3年）
パイロット 柴田洋之介（機械工学科3年）
ボートマン 小田 結月（電子情報システム工学科3年）



大空を舞う一機の人力飛行機。その飛行の裏には、数多くの学生の努力と、仲間と積み重ねてきた時間があります。

鳥人間コンテスト2026で見事優勝を果たした人力飛行機プロジェクト。チームを率いたリーダー、パイロット、飛行を支えたボートマンの3人に、それぞれの立場から見た「優勝までの道のり」を語ってもらいました。

3人が振り返る、優勝までの道のり

——人力飛行機プロジェクトに入ったきっかけは？

山本さん 志望校を検討しているとき、塾の先生が本学の人力飛行機プロジェクトのパイロットをされていることを知り、そのフライトをテレビで観て感動したことがきっかけです。



柴田さん 工大のホームページでものづくりに興味を持ち、入学後、プロジェクトの体験活動に参加して入ることを決めました。

小田さん 新入生歓迎フェスティバルで声をかけてもらい、仲の良い友達と一緒に入りました。最初は、正直それほど興味がなかったわけではありませんでした（笑）。

——活動で苦労したことは？

柴田さん 入学当初から「優勝したい」という気持ちが強く、周りにも言い続けていました。ただ、メンバー全員と熱量を共有するのは簡単ではありませんでした。焦ることもありましたが、自分は目標達成のためにトレーニングを続けることを意識しました。

山本さん 周りとの熱量の差に悩んでいる柴田さんを見ていることが、一番つらかったですね。自分にできることは、声をかけてあげることくらいでした。

小田さん ボートマンに必要な経験や知識がなかったので、夏休みなどにビデオを見たり、座学を受けたりしながら必死に勉強しました。とにかくチームの役に立つことだけを考えていました。

そして迎えた、大会。

——優勝が決まった瞬間は？

3人 「ホッとしました。」

3人が口をそろえて感じたのは、喜びよりも「安心感」。その一方で、パイロットの柴田さんは、目標として掲げ続けてきた「優勝」と「2回旋回」を実現できたことに、大きな達成感を感じたといいます。

このチームだから、優勝できた。

——優勝できた要因は？

山本さん 幹部ミーティングの人数や回数を増やすなど、メンバー同士が意見を交わし、情報を共有できる場を意識的につくりました。コミュニケーションを取る機会を増やしたことは、大きかったと思います。

柴田さん 技術面では、飛行中のペダルの回転に工夫をしていました。足の疲労を抑えるため、あえて回転数に強弱をつけ、回転数を落として足を休ませる時間をつくっていました。



小田さん そのため、飛行中に機体が上下する場面もあり、見ている側からすると「大丈夫かな」とヒヤッとしたと思います。でも、あれはパイロットが意図的に行った作戦でした。

柴田さん 自分の体力を最後まで持たせるための判断です。練習を重ねながら、どこで力を入れ、どこで回復させるかを考えていました。

山本さん パイロットの判断だけでなく、機体をつくるメンバーや大会当日にそれぞれの役割を担うメンバーがいて、一つのフライトが成り立ちます。技術とチームワーク、その両方があったからこそ、優勝できたのだと思います。

NEXT FLIGHT

——これからの目標は？

山本さん 自分にできなかったことや課題を、次の代にしっかり伝えていきたいです。

柴田さん さらに記録を伸ばし、「完全制覇」を達成することが目標です。すでに「今回の記録を超えたい」と言ってくれている後輩がいるので、その挑戦を後押ししたいです。

小田さん ボートマンとして経験したことや大会での失敗談を後輩に伝え、来年は今回の記録を超えてもらえるよう、しっかりサポートしていきたいです。





留学生のための安全講習会を実施しました！

7月23日、情報科学部で留学生を対象とした「留学生のための安全講習会」を実施しました。

本講習会は、留学生が日本で安心して学生生活を送るために、安全に対する意識を高めることを目的として実施したものです。

今回は、交野警察署警備課の方々にご協力いただき、留学生が犯罪やトラブルに巻き込まれないための心構えをはじめ、在留カードの適切な取扱いや、自転車利用時の注意事項、交通规则などについて、具体的な事例を交えながら分かりやすく説明いただきました。

講習会終了後に実施したアンケートでは、「災害時の対応方法を知ることができた」「自転車に関するルールを知ることができた」といった感想が寄せられました。

今回の講習会を通して、留学生一人ひとりが日常生活に潜む危険やトラブルについて理解を深め、安全に学生生活を送るための知識を身につける、貴重な機会となりました。



ロボティクス&デザイン工学部

学生生活オープンデスクで気軽に相談

6月～8月にかけて「学生生活オープンデスク」を実施しました。奨学金や課外活動をはじめ、学生生活に関する様々な相談に対応しました。「こんなこと聞いているの？」と思うような小さな疑問や不安も大歓迎です。オンライン（Google Meet）で1回30分、気軽に相談いただけます。

なお、後期も実施を予定していますので、ぜひご活用ください。



ロボティクス&デザイン工学部 公式 Instagram 開設のお知らせ

ロボティクス&デザイン工学部では、このたび公式 Instagram アカウントを新たに開設しました。学部からのお知らせをはじめ、梅田キャンパスで開催されるイベント情報や、学科による授業・研究活動の紹介などを発信していきます。学生・教職員の皆さん、二次元コードよりぜひフォローしてください。



国際交流センター

2027年春 海外語学研修 参加者募集（2～3月） ～国際交流センター～



現在、参加者を募集しています。条件を満たせば、参加費の一部支援、単位認定があります。説明会の動画・資料は Google Classroom に掲載しています。（コード：qnkdvmb）。

【語学学校で集中的に英語を学ぶ・現地で日本語サポート有】

- ①フィリピン語学研修（マンツーマンおよびグループレッスン、語学学校の寮）
- ②オーストラリア語学研修（グループレッスン、ホームステイ）
- ③フィリピンオンライン語学研修（マンツーマンレッスン、渡航なし）

【海外の大学で英語+αを学ぶ】

- ④サンフランシスコ州立大学（2/3/4週間、ホテル）
- ⑤オックスフォード大学（2/3週間、大学寮またはホームステイ）

申込方法：Google Classroom内の募集要項を参照（ログイン必要）

締 切：2026年11月4日（水）17：00

問 合 せ：国際交流センター（大宮キャンパス）

E mail：oit.kokusai@joshu.ac.jp

図書館

図書館で多彩なイベントを開催

■全国大学ビブリオバトル2026関西Cブロック予選会開催

8月6日、大宮本館をメイン会場とし、枚方と梅田分館ではオンラインで同時開催しました。出場者は合計13人（全員工大生）で、3部に分かれておすすめ本を発表しました。観戦者による投票の結果優勝したのは、第1部が嶋田 芯さん（建築学科1年）、第2部が玉置 実来さん（情報システム学科3年）、第3部が高澤 優さん（電子情報システム工学科2年）で、3人は10月18日開催の関西Cブロック決戦（梅田キャンパス開催）の出場権を獲得しました。



発表本を手に持つビブリオバトル出場者

■図書館支援ロボットを日本国内で初めて導入（期間限定）

7月15日～8月23日にかけて、大宮本館では図書館支援ロボット「ROMI」（ビブリオテカ社製）を日本国内の図書館で初めて導入しました。利用者が読みたい本を置いている本棚や集密書架等の施設設備まで案内したり、定期的にフロアを巡回して多くの利用者に親しまれました。また、オープンキャンパスでも来場者に大人気でした。



図書館ロボを操作する学生

■大宮本館ギャラリーで「高畑雅一の建築画展」開催中

7月15日～11月14日にかけて、画家で本学建築学科非常勤講師（2010年度～）の高畑雅一先生の建築画展を開催しています。様々な画法による建築画に加え、美術雑誌の掲載誌、授業用に作成したテキスト、インテリアプランナー試験の模範透視図解答例など数多くの作品を展示しています。



建築画展のポスター

バイオものづくりセンター開設

本学は、世界的に期待が高まる「バイオものづくり」の産業化と人材育成を牽引するため、2026年4月、大宮キャンパス内に「バイオものづくりセンター」を新設しました。従来のラボを大幅に拡張し、培養から分離精製まで一貫対応できる最新の専用建屋を整備。工業化への橋渡しとなる試作実証を行うほか、次世代の高度な技術者育成を強力に推進し、本学の研究力向上と持続可能な社会の実現に貢献していきます。



学生相談室 だより

見えないところで育つもの



学生相談室カウンセラー
大谷 真弓

秋は収穫の季節です。実った稲や色づいた果実を見ると、「成長は目に見えるもの」だと思いがちです。でも、その実りの前には、土の中で根を張るための長い時間や、花が咲いて実がなり、その実がゆっくり熟していくための静かな準備期間があります。実りの季節のずっと前から、成長は見えないところで進んでいるのです。

学生相談室では、「周りから『とにかく動いてみたら』『早く決めたら』と言われるけれど、どうしても動けない」と話す学生がいます。動けないのは、怠けているからではなく、心の中でまだ準備できていないことがあるからです。そんな時は無理に動こうとせず、自分の好きなことや気になること、大切にしたいことを少しずつ言葉にしていって時間を持つことで、「自分は本当はこう進みたかったんだ」と、自分の進む方向が見えてくることがあります。

私たちはつい、目に見える成果で自分を評価してしまいがちです。でも、人の成長には、外からは見えない準備期間があります。考え続けること、迷うこと、立ち止まることも、根を育て、実が熟するための大切な時間なのかもしれません。

もし今、「何も進んでいない」と感じていたとしても、焦らなくて大丈夫です。自分の中で育っているものを信じて、少しだけ待ってみる。秋の実りが長い準備の先にあるように、あなたの中にも、まだ見えていない実りが静かに育っているかもしれません。

工大流就職支援 76

就職
News

このほど、2026年3月卒業・修了生を対象とした全国大学「実就職ランキング」が公表されました。本学は実就職率98.3%で、卒業生数1,000人以上の国公私立大学を対象としたランキングで**全国3位**に。また、関西の私立大学では**17年連続1位**となりました。さらに有名企業400社への実就職率は15.9%で、関西の私立大では、関関同立に次ぐ5位となっています（「大学通信オンライン」2026年7月掲載）。

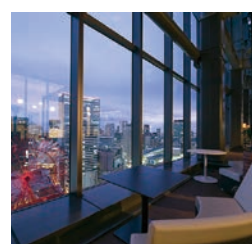
この結果は、本学が単に就職率だけが高いのではなく、大手企業への就職者も多く、質の面でも優れていることを表しています。

このような高い就職力の背景には、卒業時の「質」を保証する独自のシステムや多様な環境からなる「教育力」と最先端の研究環境からなる「研究力」の相乗効果があります。そして、これらにより育まれる学生の高い資質とともに、卒業後の進路に向かい合うための多様なキャリア支援の取り組みにより、学生の「超」就職力が生み出されているのです。

常翔ウェルフェアニュース

梅田キャンパス 「レストランテ翔21」からのご案内

レストランテ翔21では秋のパーティープランのご予約を承っております。地上125mから臨む夜景と、旬の食材をふんだんに使ったお食事をお楽しみください。



メニュー詳細はWEBで「レストランテ翔21」と検索、または下記の二次元コードを読み込みご覧ください。

学生・教職員の皆さまへの特典もご用意しております。特典詳細・ご予約はレストランテ翔21（Tel 06-6147-6681またはメール sho21@joshowelfare.co.jp）にお問い合わせください。

皆さまのご予約・ご来店をスタッフ一同お待ちしております。

